7	区成29	9年度	事務事	<u> </u>	価シート(	284	<u> </u>	績	<u>)</u>					10	)1
0	基本情	報							10 V/	I					
事	務事	業名	観り	<b></b>	ティアガイト	育月	成事業		担当部署	i	径済建	設部	観光振	興課	1
総	合計画								根拠		:L				
		策(大項目			力と魅力あん				計画な	38 0					
	政策(	中項目)	2 亿	云えたい 魅力あふれるまち なると					開	平成	•		-	19 年度	
(小項目) 施策 1				現光 現光・交流のまちづくり					事業	始	<b>⊤</b> //X				10 1/2
									期間	終	未定				
	基本	業	2 国	内外の	内外の観光客受け入れ態勢の整備				期	下足					
0	事業概	要(PL/	AN)												
		,, <u> </u>		✓ 個,	人 世帯	Ħ	寸	体	<del>7</del> 0	D他	内部	『管理			
事業 対象 している			象に	講座贸	受講者及び観:	光客									
					団体旅行から個										
			ような状態 指す)のか	ンティアガイドに対するニーズが高まっている。こうした状況を踏まえ、観光客とふれあいながら、本市の観光資源を紹介・案内できる市民参加による「なると観光ボランティアガイド」の育成を図る。											
		3年度に何 計画してい;		観光ボランティアガイド養成講座を開催する。養成講座受講者を増やすためのPR活動を実施するとともに、ボランティアガイドを活用したツアー企画を旅行エージェントに売り込むことなどにより、活躍の場を広げる。 養成講座受講者がボランティアガイドとして定着するような組織・体制づくりを進める。											
					指標:	名			27年度	28年度	29年月	度 30年	度 31:	年度	単位
	<b>战果</b> ■標	業目標の	達成度合	観光ボ <sup>:</sup>	ランティアガイ				45				50	50	人
0	実施結	果(DO)	)						•	•	•	•	•		
3	<b>を施</b> します。	るため、	標を達成 手段として 舌動を行っ	を活用し	ランティアガイト た広報やイベン ランティアガイト	小参	加等によ	るPR	活動を行っ	った。					
	事業	<b>美実施手</b>	<del>-</del> 法	□ 市実施 □ 一部委託 ▽			/ 委	託	E						
			指相				27年度到	[績 2	8年度実績	29年度目	標 30年	F度目標	31年度	目標	単位
活	動指標			ィアガイ	ド養成講座実	施		10	10		10	10		10	
実施の対	施した事業 舌動量を示	四多	Į .					+			-				
成	果指標	2 程 程 光 元	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	マガイじ	数			32	34	_		_			人
うな	象にどのよ 効果が oたか示す	EJUJUT	• )	7 73 11 3	**			02	04						
指相			目標達	成率(実	績/目標)				68.0	_		_	_		%
今年度		を の 進捗	状況		未達成		事	業全体の進捗状況		況	未達成				
							-		ıL /±	11 44		60.0	LVII	<b>—</b> 4	(千円)
			年 度	区分	玉		県	爿	也方債	<mark>その他特</mark>		一般則		争身	<b>養計</b>
				当初予算額	0		0		0		0		300		300
				当初予算額補正予算額	0		0		0		0		300		300
															300 0
ļ	<b></b> 讨源内		<b>ポ20年</b> 中	補正予算額	0		0		0		0		0		300 0 0 300
ļ	<b></b> 讨源内		成28年度	補正予算額繰越予算額	0		0		0		0		0		300 0
J	<b></b> 讨源内i		戍28年度	補正予算額 繰越予算額 全体予算額	0 0		0		0 0		0 0		0 0 300		300 0 0 300

人件費

0.2

0.0

1,427

1,727

## 【鳴門市行政評価】

【事務事業名:観光ボランティアガイド育成事業】

				7 73 7 7N H RV.	1011 7 7 7 1 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	11 17 17 17 17 1
	年 度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	300	300	300	300	300
事業費推移	うち一般財源	300	300	300	300	300
	人件費	1,372	1,427	1,427	1,427	1,427
	総事業費	1,672	1,727	1,727	1,727	1,727

◎項目別評価(CHECK)

●項目別評価(GREGK)									
評価	項目	評価	値	所見欄					
①活動に対	有効性	B:概ね有効t	生があった	ボランティアガイドを活用したツアー企画等を実施 することで、ボランティア会員の定着につながった。					
する評価	効率性	B:概ね効率	的だった	鳴門市の歴史や文化をよりわかりやすく観光客に伝えるため、学識経験者の講義等を行い、ボランティアガイドの知識の向上を図った。					
	指標名	観光ボランティ	ィアガイド数						
②成果に対	目標	50	人	目標には到達しなかったものの、前年度の人数よ					
する評価	実績	34 人		り増加している。					
	評価	C:あまり目標を達	成できなかった						
③総合的	りな評価	В		目標を達成できていないが、前年度の人数より増加していることから、B評価とする。					

## ◎今後の方向性(ACTION)

育成されたボランティアガイドを効果的に活用するため、十分な周知を行いながら、観光客のニーズ に対応するため新たな観光コースの設定も行わなければならない。

	観光客の需要を満たす人材を確保するためには、養成講座の継続が必要であり、ボランティアガイドが定着していくような組織づくりを進める必要がある。										
今後の方	向性	1.廃止		2.要改善3.現状維持		4.拡充	3				
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。											
実施内容	H29年		引き続き、観光ボランティアガイド養成講座を開催し、受講者の増加を図るとともに、ボランティアガイドを活用したツアー企画を旅行エージェントに売り込むなど活躍の場を広げる。								
× 101 10	H30年	F度	——— 平成29年度	その反省点等を踏ま <i>え</i>	、事業内容の見直し	· 検討を行う。					